

Title	前号目次 奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1922
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.16, No.1 (1922. 1)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19220101-0145">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19220101-0145</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

化價値の建設前提として、先づ各人の生命維持に對する保證を與へることが第一の要件である。(二二二—二三)かくの如く文化價値の建設に參與する點において個人は生存權を有する。(第四篇第三章)而して生存權の要求が充足されるには、正當な労働がなければならぬ。曰く、「文化的社會生活を構成する第一の根柢は正當なる労働を基本とする生存權の要求にある」と。(二八七頁)かう云ふのが著者の社會哲學である。著者は故に云ふ。「吾人の目指すところは文化價値の完成であるが、先づそのためにマルクス主義の洗禮を受ける必要がある。マルクスを経たる後のカントに歸るべきである」と。(二八頁)、著者はこのために社會と個人の關係を論じ、個人の意義を論ずる。全篇を貫く主張は吾人がこゝに紹介した社會哲學である。而して本書に收録するところは、大正九年七月以降三田學會雜誌、太陽、中央公論、解放、東京日々新聞に掲載したもので、然し全部修正を加へ一貫したものである。(序文)著者は「本書を構成してゐる

大多數の論文が主として通俗を旨とした諸雜誌に寄稿したものであるから學術的研究としては不滿の點が甚だ多い。又従つて繁簡宜しきを得てゐないところも少くない」と云つてゐるがこれは勿論著者の謙讓の辭であらう。(加田哲二)

前號(第十五卷) 目次(大正十年十二月號)

論 說

リカルドオの機械論 小泉 信三  
 國際間の通貨并に信用問題(下) 堀江 歸一  
 鐵道に於ける「運送の價値」に就て(下) 増井 幸雄  
 基督教會と徵利問題(六、完) 高橋誠一郎  
 ハンザ對英國(下) 阿部 秀助

雜 錄

經濟史研究に就いて(六、完) 野村兼太郎  
 社會思想家としてのウヰリアム・モリス(上、完) 加田 哲二  
 伊太利に於ける社會主義學說の發達(下) 金原賢之助

新刊紹介

中川正左著「鐵道論」 増井 幸雄  
 森莊三郎著「労働保險研究」 園 乾治  
 雜誌「史學」創刊 野村兼太郎

●一冊定價金五拾錢 郵税金壹圓五厘  
 ●半年分金貳圓九拾錢 郵 稅 共  
 ●一年分金五圓四拾錢

●編輯及び事務に關する一切の用件は發行所宛  
 ●營業に關する用件は發賣元宛  
 ●原稿締切期日は發行の前月十日限

大正十年十二月卅日印刷納本 每月一回一日發行  
 大正十一年一月一日發行

三田學會雜誌 第六十卷 第一號  
 編輯者 江 田 範 保  
 發行所 東京市赤坂區新町五丁目四十二番地  
 印刷者 金子 鐵 五 郎  
 印刷所 東京市赤坂區新町五丁目四十二番地  
 金子 活 版 所

發賣元 國 文 堂 書 店  
 東京市芝區三田貳丁目壹番地

尙ほ本誌は全國各市雜誌店にて販賣す  
 電話高輪一三七番 振替東京四六九九番

發行所 東京芝區三田 慶應義塾内 理財學會